関西大学 経済・政治研究所
平成２６年度
第６回 公開セミナー

事前申込不要
入場無料

Inter-disciplinary Study Group for Action Research
on Citizen Autonomy and Community Empowerment
市民自治力向上とアクション・リサーチ研究班（AR研究班）

The Measure of America Approach to Gauging Well-Being and Opportunity in the United States

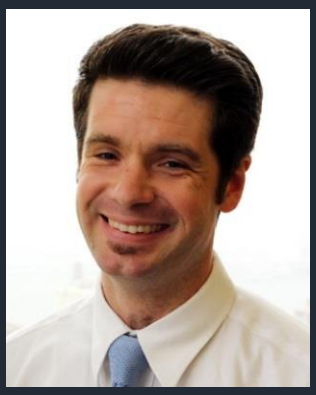
Concept and Application at the Community-Level

リーマンショックや東日本大震災を契機に、経済成長一辺倒ではない社会発展モデルへの関心がひろがりを見せてきた。内閣府は経済面、社会面、環境面を重視した日本の幸福度の測定を提案し、また、2013年には、全国から60近くの地方自治体が「幸せリーグ」を結成、生活の質の高い地域社会づくりに向けた取り組みを模索している。生活の質の高い地域社会づくりには、生活当事者である市民の知見と行動が求められるが、どのようにして市民自治力を底上げしていけるかが重要である。市民自治を加速させる動きは、多くの先進国で見られるようになった。その一つに、アメリカの社会発展測定プログラム（Measure of America）がある。本セミナーでは、Measure of Americaの開発したアメリカ型人間開発指標と国・州・郡単位での応用事例を取り上げ、地域の社会発展を目指す市民主導のアクション・リサーチについて検討してみたい。

●Speaker

Mr. Patrick Guyer

Social Science Research Council,
Measure of America, Chief Statistician,
米国社会科学院アメリカ社会発展測定プロジェクト主席統計官



【プロフィール】

米国社会科学院　アメリカの社会発展測定プログラム（Measure of America）主席統計官。同プログラムにおける統計指標の構築、データ分析を担当し、国レベル、州レベル、郡レベルの諸レポート作成に携わる。また、アメリカ・ブルックリン大学講師、国連事務局経済社会局や国連ユニセフのコンサルタントでもある。

●Commentator

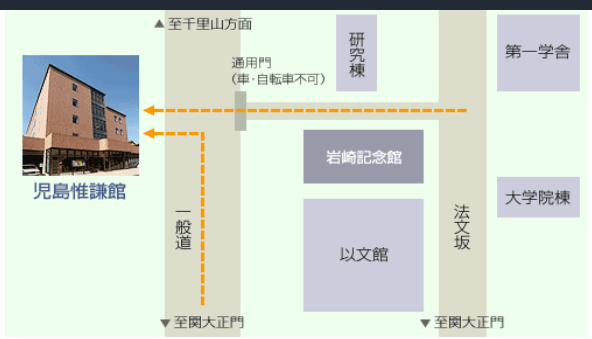
Prof. Yumiko Okamoto
岡本　由美子
同志社大学政策学部・教授

●Moderator

Prof. Takayoshi Kusago
草郷　孝好
AR研究班主幹
関西大学社会学部・教授

本セミナーはすべて英語で行います。

日時: 平成26年12月15日（月）
15：00～17：30
場所 :関西大学千里山キャンパス
児島惟謙館2階 第2会議室



関西大学
関西大学 研究所事務グループ
〒564-8680　吹田市山手町3-3-35
TEL 06-6368-1179 ／ FAX 06-6339-7721
http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/

130 KANSAI UNIVERSITY